

チームごっくんニュースレター



水のみテスト・フードテストについて

水のみテストとは

冷水を飲み込むことで、嚥下運動と共に咽頭期における障害を評価することです

手順

- ①3ml程度の冷たい水を舌の裏側に注入する。 ②同じことをもう1度行う
- ③むせ、嚥下反射の状態、呼吸の変化を観察する

評価基準

- ①嚥下することができずにむせるが、呼吸の切迫もしくはその両方が見られる
- ②嚥下動作はみられるが、呼吸は切迫している
- ③嚥下動作が見られ、呼吸状態は良好あるいは嚥下動作は見られる／むせるが湿性咳嗽もしくはその両方が見られない
- ④嚥下反射が見られ、呼吸状態は良好であり、むせも見られない
- ⑤上記④の評価基準に加え、30秒以内に2回空嚥下が可能である



フードテストとは

口腔内においての食塊を形成する能力や咽頭に送り込む能力を評価することです。

手順

- ①食物(プリンやゼリー)を見せることで、食物の認知をしてもらう
- ②食物をティースプーン1杯程度、舌の前方に乗せ、口唇を閉じるよう促す
- ③口唇を閉じたらスプーンを口腔内から抜いて嚥下をしてもらう。

評価基準

- ①嚥下することができずにむせるが、呼吸の切迫もしくはその両方が見られる
- ②嚥下動作は見られるが、呼吸は切迫している
- ③嚥下動作が見られ、呼吸状態は良好あるいは嚥下動作は見られる／むせるが湿性咳嗽もしくはその両方が見られ、口腔内残留もある
- ④嚥下反射が見られ、呼吸状態は良好であり、むせも見られないかつ、食物の残留もない
- ⑤上記④の評価基準に加え、30秒以内に2回空嚥下が可能である

